

## 境港市小中学校編成について（諮問）

次の事項について、理由を添えて諮問します。

- （１）将来の児童生徒数減少に対応した小中学校の編成の方向
- （２）学校の編成の方向に照らした誠道小学校のあり方

境港市教育委員会

〈理由〉

境港市の児童生徒数は、年々減少していく方向にあり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年（平成52年）には、小学校1,025人、中学校547人に減少することが想定され、現在の学校数ではほとんどの小学校において各学年の児童数が35人を下回り、学級数が1学級以下になることが予想される。

こうした状態は、小学校においては学級編成替えが行えず人間関係が固定化しやすいだけでなく、多人数を要する学習活動が困難になるなど、望ましい教育環境を保障することができるとは言えない状況である。

また、学校教育法の一部改正に伴い、平成28年4月1日より施行される「義務教育学校の創設」による小中一貫教育に、境港市としてどのように取り組むかということについて、その必要性・可能性を検討する必要がある。

2060年（平成72）年には、さらに児童生徒数が減少することを考慮すれば、現段階から将来の学校編成に対する方向性を示すことによって、展望を持った教育環境の整備を計画的に進めていくことが重要である。

さらに、現在も児童数が大きく減少し、将来大きな増加が見込めない誠道小学校のあり方については、この学校編成の方向に照らしながら、早期に編成を検討し決定する必要がある。また、現在在籍する児童のためにも適切な教育環境を早期に検討することが求められる。

以上のことにより、標記のことについて諮問を行うものである。